第4講

小論文を紡ぐ手順(2)
設問を「読む」

チャプター1

レクチャー

ポイント

　設問やテーマが示されている文章を(　　　　　　　　　　　)と呼ぶ。
　設問を読むときは、設問文の中に(　　　　　　　　　　　)文が示されているか否かで意見の示し方の手順が変わる。
　設問に(　　　　　　　　　　　)が示されている場合は、その回答が(　　　　　　　　　　　)となる。
　設問に(　　　　　　　　　　　)が示されていない場合は、設問文中のテーマをもとに(　　　　　　　　　　　)文をつくった上で、回答を(　　　　　　　　　　　)として示す必要がある。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　勉強が「役に立つ」とはどういうことか、あなたの考えを200字以内で述べてください。

(オリジナル)

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

（　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　勉強が「役に立つ」とは、将来、問題に向き合う時、できるだけ困らないということだと考える。例えば、美術館で絵の鑑賞をすると個人の直感で良いか悪いか、好きか嫌いかを判断することが多い。しかし、画家や、絵が制作された時代や文化などを知ることで、見え方も変わってくる。勉強をすることで、知っていることが増えて、色々なことに興味を持つことができるようになるため、これからの人生に役立つだろうと考える。

（196字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　国語を勉強すれば漢字が分かるようになり、ふとした場面にどのような言葉を述べればよいのかが分かる。数学を勉強すれば日々の暮らしで使う計算ができるし、数学の長文問題を解くことで、思考力が身につく。このように知識面で勉強は役に立つ。精神面でも勉強をしている時の集中力は、将来就職する時に役に立つ。また、人と会話をする時にも色々な分野の知識があれば、誰とどのような会話でもできて円滑に人間関係を築けると思う。

（200字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S　A　B　C　F
意見（主張）	設問と意見の関係	S　A　B　C　F
	独自性・独創性・発展性	S　A　B　C　F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S　A　B　C　F
	重要性・問題性	S　A　B　C　F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄